履　歴　書

氏名（ふりがな） 熊本　太郎（くまもと　たろう）

生年月日 1980年１月11日

自宅住所 〒XXX-0XXX　○○県○○市○○町1-23-4-567

 TEL/FAX：0XX-123-4567

勤務先・役職 ○○大学医学部・准教授

　 ○○大学医学部　○○学専攻　○○学講座

 〒8XX-0XXX　○○県○○市○○町8-9

 TEL：0XX-321-4567　　FAX：0XX-321-1234

 E-mail　taro@xyz.abc.ne.jp

学　　位 博士（○○）（2010年３月　○○大学）

所属学会 日本○○学会（８年間、2019年より評議員)、

 日本△△学会（６年間、2022年より理事）

 日本□□学会（４年間）

学　　歴 1998年３月31日　○○高等学校　卒業

 1998年４月１日 　○○大学○○学部　入学

 2002年３月25日　同　卒業

 2009年４月１日 　○○大学大学院○○研究科修士課程　入学

 （○○学専攻）

 2011年３月24日　同　修了（○○学修士）

 2011年４月１日 　○○大学大学院○○研究科博士課程　入学

 （○○学専攻）

 2014年３月24日　同　修了（博士（○○））

職　　歴 2002年４月１日 　○○病院　（職名）

　　　　　　　　　 2006年３月31日　同　退職

　　　　　　　　　 2007年４月１日 　○○病院　（職名）

　　　　　　　　　 2008年３月31日　同　退職

 2014年４月１日 　○○大学○○学部・講師

 2018年７月16日　○○大学○○学部・准教授

現在に至る

社会貢献　　　　　 ○○協会評議員

賞　　罰 2019年12月３日　第10回日本xx学会賞受賞

免　　許 2002年４月10日　○○免許（登録第11111号）

 2002年４月10日　○○師免許（登録第22222号）

業　績　目　録

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　熊本　太郎

注：著者名は、原則として全員を記すこと。ただし著者数が多数にわたる（１０人以上）場合は、最初の著者を三名記入し以下を省略のこと（省略する場合、その員数と、掲載されている応募者の順番を○番目と記入）。なお、応募者にはアンダーラインを付し、論文のcorresponding authorには＊を記すこと。また投稿中論文は記載しないこと。印刷中論文については、正式な採択通知書のコピーを同封できる場合に限って、記載が認められる。

Ⅰ．原著論文

 1. Oe Y., Honjoe E., Kuhonji T, Kumamoto T., Kurokami T\*.

 Cell-matrix interaction via CD44 is ….. PKC activation.

 J Cell Biol., in press. （査読あり）

 2. Kumamoto T\*., Honjo E., Oe Y., Kuhonji T., Kurokami T.

 Endothelin activates the ..... in vascular smooth muscle.

 Nature 123, 456-489 (2022) （査読あり）

 3. Honjo E.\*, Kumamoto T, Oe Y., et al.（１５人中２番目）

 Regulation of Human B Cell ...

 Proc. Natl. Acad. Sci. USA 78, 9-10 (2020) （査読あり）

Ⅱ．総説

 1. Kumamoto T\*.

 Endothelin activates the ..... in vascular smooth muscle.

 Curr. Opin. Struct. Biol. 123, 456-789 (2021) （査読あり）

 2. Honjo E., Kumamoto T\*., Kurokami T.

 Regulation of Human B Cell ...

 FASEB J. 78, 9-10 (2018) （査読あり）

Ⅲ．著書

 1. 熊本太郎

 ○○論

 ○○学講座20, 456-489, ○○書店 (2020)

Ⅳ．招待講演

 （注：国際学会や全国規模の学会に限定し、地方集談会を除いたものを記載のこと。）

 1. 熊本太郎、本荘次郎

 ○○・・・・・と心の支援

 第123回保健学会シンポジウム(2021)

 2. Kumamoto T.

 Regulation of Human B Cell ...

 Tenth International Conference on Human .... (2019)

Ⅴ．学会発表（最近５年間について、記載のこと。）

1.　熊本太郎、本荘次郎

○○の有効性の検討　第○○回○○教育学会　2022年７月18日（東京）

Ⅵ．研究費採択状況（代表者分・分担者分をそれぞれ別個に記載して、明記すること）

（注：過去に取得した競争的研究資金について、文部科学省科学研究費、その他省庁研究補助金、財団等補助金別に記載のこと。）

研究代表者分

　文部科学省科学研究費

1. 令和3～5年度　文部科学省科学研究費　基盤研究(B)　合計15,000千円

 ○○○に関する研究

　2.　平成30～令和2年度　文部科学省科学研究費　基盤研究(A)　35,000千円

 ○○○に関する研究

　その他省庁研究補助金

 　1.　平成29～30年度　厚生労働省科学研究費

 がん克服戦略研究事業　50,000千円

 ヒトＢ細胞の......

　財団等補助金

 　1.　平成29年度　受託研究費　2,000千円

 　　 ○○○と△△△に関する研究

研究分担者分

　文部科学省科学研究費

1.　令和元〜2年度　文部科学省科学研究費　基盤研究(B)　35,000千円

 高脂血症におけるTGF-β.....に関する研究（研究代表者　大江良子）

　2.　平成29〜30年度　文部科学省科学研究費　基盤研究(B)　合計14,000千円

 TGF-β......の分子機構に関する研究（研究代表者　黒髪太郎）

　その他省庁研究補助金

 　1.　平成29～令和3年度　厚生労働省科学研究費

 がん克服戦略研究事業　70,000千円

 ヒトＢ細胞の...... （研究代表者　黒髪太郎）

　財団等補助金

 　1.　特になし

主 要 研 究 論 文

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　熊本　太郎

原則としては原著論文が望ましいが、総説を含めることもできる。ただし合計１０編に限定すること。

注：著者名は、原則として全員を記すこと。ただし著者数が多数にわたる（１０人以上）場合は、最初の著者を三名記入し以下を省略のこと（省略する場合、その員数と、掲載されている応募者の順番を○番目と記入）。なお、応募者にはアンダーラインを付し、論文のcorresponding authorには＊を記すこと。また投稿中論文は記載しないこと。印刷中論文については、正式な採択通知書のコピーを同封できる場合に限って、記載が認められる。記載順は、直近の年代の論文から、過去に遡って記載すること。

 1. Oe Y., Honjoe E., Kuhonji T, Kumamoto T., Kurokami T\*.

 Cell-matrix interaction via CD44 is ….. PKC activation.

 J Cell Biol., in press.

 2. Honjo E.\*, Kumamoto T, Oe Y., et al.（15人中2番目）

 Regulation of Human B Cell ...

 Proc. Natl. Acad. Sci. USA 78, 9-10 (2020)

 3. Kumamoto T\*., Honjo E., Oe Y., Kuhonji T., Kurokami T.

 Endothelin activates the ..... in vascular smooth muscle.

 Nature 123, 456-789 (2019)

業　績　の　概　要

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　熊本　太郎

現在までの業績をＡ４紙に１枚、1200字以内で記載すること。

教 育 実 績 の 概 要

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　熊本　太郎

現在までの教育実績をＡ４紙に１枚、1200字以内で記載すること。

教育･研究に対する抱負

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　熊本　太郎

当該分野応募に関して、現在お持ちの抱負をＡ４紙に１枚、1200字以内で記載すること

国立大学法人熊本大学長　殿

申告書

下記については、事実に相違なく、虚偽の記載があった場合には、採用取消や

懲戒処分等の対象となり得ることについて了承します。

令和　　　年 　　月 　　日

氏名 　　　　　　　　　　　　（自署）

記

* 履歴書に記載した内容に虚偽はありません。

（何れかに印を付けてください）

* 過去に懲戒処分若しくは分限処分を受けたことはありません。
* 過去に懲戒処分若しくは分限処分を受けたことがあります。

|  |
| --- |
| ※学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等が原因で処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を記入してください。 |

以上